




第2学年 国語科 想像を広げて、物語の世界を声で届けよう

～『ニャーゴ』～

学習指導者 片岡 亜貴子

<p>主張点</p>	<p>本単元の導入で、自分たちの音読と音読カップで入賞した低学年の子供の音読を聞き比べる時間を設け、「文章を詳しく想像して、幼稚園の青組さんや1年生に登場人物の様子が伝わる読み聞かせをしたい」という目的意識を明確にした後、共通教材を読んでいきました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>文章を詳しく想像する方法をみんなで考えるために、共通教材『ニャーゴ』を読んでいきました。叙述を基に登場人物について想像したことを付箋に書き、それを交流する中で、言葉を置き換えたり比較したりしながら人物の行動等を詳しく想像すると、自分たちの音読が変わってくることを実感してきました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p>	<p>子供たちと一緒に考えた学習計画 <u>きらきらステップ</u> を補助黒板と手元の振り返りカードに示しておき、本単元の学習の目的や前時までどこまで学習が進んできたのかを振り返らせながら、本時の学習課題を設定しました。</p>  <p>登場人物の様子が伝わる読み聞かせをするために、前の時間は場面三を詳しく想像して読みました。今日はその続きの場面四を詳しく想像して読みたいです。</p>
<p>〈課題解決中〉 2 登場人物の行動について、想像したことを話し合う。 3 想像したことを基に、音読する。</p>	<p>自分が想像したこととその理由について友達と共有する際には、拡大した教材文に自分の考えを書いた付箋を出し合いながら話し合いを進める <u>じゃんチュータイム</u> を設定しました。想像するための観点（行動、表情、声、気持ち）で友達の考えと比較して、付箋を重ねたり並べたりしながら、人物の様子をより具体的に捉えていきました。その後、想像したことを基に音読練習をし、互いの音読のよかったところを伝え合いました。</p>  <p>「こわい顔で」のところで、たまは子ねずみたちを食べようとしているから、鋭い歯を光らせていると思うよ。</p> <p>なるほど。僕は同じところで、たまは子ねずみをにらんでいて、目がつり上がっていると思ったよ。</p>
<p>〈課題解決後〉 4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>振り返りでは、場面四について「詳しく想像できたか」と、「友達と一緒に考えることができたか」という観点について三段階で自己評価し、さらに「頑張ったこと」や「次にしたいこと」についても記述しました。</p>  <p>Aさんが「さよならなんですよ」のところでゆっくりのぼして読んでいたから、ねずみの子供っぽさが伝わりました。僕もまねしたいです。</p>
<p>考察</p>	<p>グループ交流の後に新たな気づきを加筆させ、加筆したことを全体で取り上げてもよかった。全体対話で何を話すのかをもう少し焦点化しておく必要がある。</p>